



玉幡小学校 学校だより 第16号

チーム玉幡

平成30年12月 3日(月)

校長 望月 和彦

児童会役員選挙が行われました

10月末から11月にかけて来年度の児童会長、副会長を選ぶ児童会役員選挙の取り組みが行われました。選挙は、全校児童の新しいリーダーを選ぶことが第一の目的ですが、その活動や取り組みを通して、児童会活動の目的やより良い学校について考えさせたり、選挙のしくみや民主主義について学ばせたり、さらには思いやる気持ちにつ



いても考えさせたりする大切な教育の場でもあります。今年度も児童の選挙管理委員会が組織され、選挙規定に基づき4・5年生から8名の立候補者が出ました。各候補者は公約を考



え、責任者、応援者とともに休み時間にクラスを訪問するなどの選挙活動を行いました。27日には体育館で立会演説会が開かれ、立候補者8人が「こういう学校をつくりたい」「リーダーとしてこんなことに取り組みたい」と自分の考えを大きな声とゼスチャーで堂々と演説し、それ

ぞれの責任者も自分の推す候補者の良さを訴えました。壇上に立った演説者すべてが内容、態度ともに立派でしたし、フロアへの3年生以上の子どもの聞く態度もこれまたすばしかったです。

立会演説会終了後、投票と開票が行われ、平成31年度の児童会長、副会長が次のように決まりました。

児童会長 : 虎谷咲良さん(5年)

児童会副会長: 前田琉成さん(5年), 勝村陽葉さん(5年), 花輪 霞さん(4年)

当選した児童もそうでなかった児童も、立候補した8人は、多くの子どもたちから児童会役員として推薦され、玉幡小のために、また全校児童のために働きたいと決意した人ですから、その時点で大きな拍手を送りたいです。8人には、これからの玉幡小を支えるリーダーとしての活躍を期待しています。

みんなで遊ぼう! 「ゲーム集会」

11月9日(金)、中休みから3・4校時にかけて、児童会主催の「ゲーム集会」が行われました。6年生が考えた12のゲームを教室や体育館に準備して、全校児童が縦割り班に分かれて、移動しながらゲームを楽しむ会です。「射的」「玉入れ」「お玉リレー」などみんなが知っているゲームもあれば、「ポテトゲット」「シークレットボックス」「バラバラワード」「ミラクルタイム」など名前を聞いただけではわからないワクワクするようなゲームもありました。各班リー



ダーやゲーム運営担当の5・6年生の指示や説明を聞きながら、全校児童がゲームを楽しんでいました。特に低学年の子どもたちは大変喜んでいて、あちらこちらに笑顔や笑い声がありました。ゲームの内容を考え、ゲームに必要なものを準備したり、役割を決めたり、そして、当日はゲームの運営をしたり、下級生を誘導したり、高学年の子どもたちはとても忙しかったと思いますが、みんなが楽しめるように工夫し、優しく下級生に話しかけている姿には、とても感心しました。児童会活動の

3つの柱の一つ「なかよし活動」を推進する大切な行事になりました。

字をおぼえよう！やはたいぬくんが来校

甲斐市では、創甲斐教育推進大綱（教育振興基本計画）の中で、児童の国語力向上や漢字を丁寧にかく力の向上をめざしています。その取り組みの一つとして、4月には2年生が、11月には1年生がその学年で学習する漢字が書かれた「漢字ハンカチ」をいただきました。そして、11月16日（金）には、「字をおぼえよう」キャンペーンとして、やはたいぬくんと生山勝教育長さん、新海宏子教育委員さんたちが本校にいらっしゃいました。1・2年生を集めた音楽室で、やはたいぬくんと教育長さんが、漢字に関する楽しいクイズを出してくれたり、やはたいぬくんが書道を披露してくれたりしました。教育長さんからは「玉小の子どもたちはとてもノリがいいし、しっかり話が聞けて感心しました。これからも勉強もがんばってくださいね。」とお褒めの言葉をいただきました。最後に、やはたいぬくん、教育長さんたちと一緒に記念写真を撮りました。子どもたちにとって大きなプレゼントになりました。



11月8日の道徳授業公開について、保護者の方々から寄せられた感想（抜粋）

1年保護者

- ・自分の良いところをテーマに、子どもたち自身で考えさせ、発表させ合うことで、深く考える力を育て心の成長につながっていくと思いました。
- ・周りの友達の良いところを見つけて伝えることで、自分も良いところを伸ばしたり頑張ったりすることができると思うので、とても良い授業だったと思います。
- ・がやがやしている部分もありましたが、きちんと先生の話には耳を傾け授業を受ける姿勢ができていてよかったです。
- ・保護者も普段なかなか良いところを子ども自身に伝えることができないでいたのですが、悪いところばかりでなく良いところも見つけ褒めてあげたいと思いました。

2年保護者

- ・道徳は答えが一つではないので、子ども達の答えを聞いてとても面白かったし、感心してしまう答えもありました。
- ・お友達に嫌なことをされた時、逆にしてしまった時の気持ちを皆で考えることができたと思います。
- ・一人ひとり発言して自分の意見を言ったり、自分の考えを書いたりして、それぞれの思ったことや考えを皆で共有するのはとても良いことだと思いました。
- ・似たような状況があり悩んでいたのが、学校でもクラスのみならず意見を話し合うことで人の気持ちがわかるようになってくれれば良いなと思いました。

3年保護者

- ・今回の道徳の授業で、相手の気持ちを考えることや正しいと思ったことを言える勇氣を持つことなどを学んだと思います。授業で勉強したことを生かして行ってほしいです。
- ・子ども達がたくさん発言していらいなあとと思いました。道徳の授業を通して子ども達が抱える問題が少しでも解決できればよいなと思います。
- ・自分の気持ち、友達の気持ちや考え方を知ることができ、考えにも色々あることを学べていたようでした。
- ・自分では相手にきちんと注意できると思っていたが、実際そういう場面になったらなかなか言うのはむずかしいよね、という話を家に帰ってからしてみました。

4年保護者

- ・道徳の授業ということで(中略)静かな授業になるのかなと思っていましたが、多くの子が積極的に発言し、手を挙げない子も用紙にはたくさん自分の考えを書いていました。先生も上手にそんな子たちに発言の場を提供し、クラス全体で考えている様子がよかったです。
- ・我が家でも上の子どもたちの時、「これやったらいくらくれる？」と言われたものでした。私の考えとしては(お手伝いを)やってくれたことに感謝しますが、お金を渡すという行為はないです。
- ・子ども達一人ひとりが、親はなぜ無償で自分達のために色々なことをしてくれるのか真剣に考えている姿を見て感動しました。
- ・母親が毎日していることは当たり前のように感じてしまっている中で、今回の授業がありました。子どもの中で何か家族の在り方について考えるきっかけになってくれたらと思います。

5年保護者

- ・道徳の授業は「正しい」「間違っている」ではなく、自分自身で答えを導き出し、しっかり意見を言えることが大切です。人の意見も聞き入れてお互いを認め合うことが大切だと思いました。
- ・はっきりと正解のない問題について考えることを通して、自分の考えや意見を表現できる力を養える授業だと思いました。
- ・思っていることをありのままに発言できる雰囲気を作ってくれていることに、とてもありがたく感じました。
- ・先生の進め方や例え話が具体的で、児童が自分のことに置き換えその場を想像しながらしっかり考えている姿が印象的でした。

6年保護者

- ・皆積極的に自分の意見を発表していました。子どもによって様々な考え方や、とらえ方があるんだなと私も勉強になりました。
- ・来年は中学生となり友達関係でもいろいろな場面があると思いますが、自分の意見の言える子になってほしいと思います。
- ・自分の考えを友達と話し合い、意見をしっかりとめ発表していたのを見て、とても感心しました。
- ・我が子がどのように思い、生活しているのかを改めて知ることができました。これから未来のある子にどのような考え方をもち生きてほしいか、それを近くで見守っていく親はどのようにフォローしたり応援したりすれば良いか、改めて考えさせられました。